

2017年10月
No.17-131a(全)

新規項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記計算項目を依頼項目に応じて自動的に報告することとなりました。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど宜しく願い申し上げます。

敬具

記

■新規項目

● [1830] 補正カルシウム

※依頼書に補正カルシウムをご依頼いただく必要はございません。

[1834]カルシウムと[1503]アルブミンをご依頼いただき、かつ、アルブミンが 4.0 g/dL 未満の場合に補正カルシウムを自動発生させ、結果を常用報告書で報告いたします。先生の意図に関わらず結果が報告されますが、料金を頂くことはございません。ご了承のほど宜しく願いいたします。

■受託開始日

● 2017年10月10日(火)受付日分より

以上

補正カルシウム

血液中のカルシウムのうち、約 47%は生理的な働きを持たず、蛋白質（おもにアルブミン）と結合した状態で、約 48%は生理的な働きを持つイオン化カルシウムとして存在しており、日常検査で測定する血清カルシウムはこれらの総量を測定しています。

そのため、透析患者に多くみられる低アルブミン血症では、イオン化カルシウム濃度が変わらなくてもアルブミンと結合したカルシウムが減少するため、血清カルシウムは低値を示します。

日本透析医学会「慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常の診療ガイドライン」では、低アルブミン血症（4.0g/dL 未満）がある場合には Payne の補正式によって補正されたカルシウム濃度で評価するように提言されており、この補正式に則った補正カルシウムの報告を開始いたします。

補正カルシウムのご依頼を別途いただく必要はなく、血清のカルシウムとアルブミンのご依頼があり、かつ、アルブミンが 4.0 g/dL 未満の場合に補正カルシウムを自動算出し、常用報告書で報告いたします。

■検査要項

項目コード	1830
検査項目名	補正カルシウム
検体及び保存方法	血液 3mL ↓ 遠心 血清 1mL（冷蔵）
容器	01（汎用容器（分離剤入り））
検査方法	計算法（Payneの補正式 ^{*1} ）
基準値（単位）	なし（mg/dL）
所要日数	1～2日
検査実施料	なし
判断料	なし
備考	・ <u>依頼書へ補正カルシウムをご依頼いただく必要はございません。</u> [1834]カルシウムと[1503]アルブミンをご依頼いただき、かつ、アルブミンが4.0 g/dL未満の場合に補正カルシウムを自動発生させ、結果を常用報告書で報告いたします。
検査場所	キューリン本社ラボ

※1:Payne の補正式

補正カルシウム濃度 = 実測カルシウム濃度 + (4 - アルブミン濃度)